

◎昭和 46 年度第 4 回理事会議事録 (46.9.27) 出席者：高野会長，石川，河上，篠原の各副会長，下村専務理事，足立，浅間，荒木，井上，岩垣，小山内，尾崎，金子，後藤 (尚)，後藤 (明)，鈴木，竹内，難波，半谷の各理事，横田監事。議事録署名理事の決定：高野会長，下村専務理事，小山内理事。A. 報告事項：次の各項につき下村専務理事より報告があり了承された；1) 会計報告。2) 刊行物頒布報告。3) 各種委員会その他報告。4) 会務担当理事会報告：下村専務理事から，昭和 46 年 9 月 16 日 (木) 開催の会務担当 (総務，調査研究) 理事会の議事録概要および審議経過について，本理事会の議事と重複するため，議事審議の際に報告することとして了承。5) その他；①土木図書館の屋根および事務室等の電気設備の改修について，②秋のエキスカッションについて，③土木学会賞各委員会の構成について。B. 協議事項：1) 開発途上国に対する土木技術協力強化および促進に関する提言について；本件は建設コンサルタント委員会から第 3 回理事会に提案されたが，海外活動委員会と協議のうえ再提出することとなっていたもので，下村専務理事から，その間の経緯説明があった後，横田監事 (建設コンサルタント委員会幹事長) から内容説明があり，種々論議されたが，さらに検討のうえ理事会に再提案することになった。2) 朝日賞受賞候補者の推薦について。3) 東レ科学技術賞および科学技術研究助成の候補者の推薦について。4) 会員の入退会について。5) 次回理事会について。6) その他：支部幹事長会議における問題点について。

◎各種委員会

(1) 土木計画学研究委員会幹事会 (46.8.11) 出席者：長尾幹事長，ほか 9 名。議事：1) 経過報告。2) 第 6 回土木計画学シンポジウム開催に関し内容，研究日程，その他を協議。3) 委員会構成協議。4) その他。

(2) 行事企画委員会 (46.8.11) 出席者：森委員長，嶋副委員長，ほか 12 名。議事：1) 経過報告。2) 内規の確認。3) 委員会の活動方針。

(3) 琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会 (46.8.11) 出席者：関係者 15 名。議事：1) 滋賀県における化学肥料

の消費量推移。2) 蓄産からの影響について。

(4) トンネル工学委員会打合せ (46.8.13) 出席者：関係者 4 名。議事：昭和 46，47 年度トンネル工学委員会委員構成の打合せを行なった。

(5) 岩盤力学委員会第 3 分科会 (第 10 回) (46.8.14) 出席者：関係者 5 名。議事：1) 現地岩盤試験資料のとりまとめ。2) 第 7 回岩盤力学に関するシンポジウム開催について。

(6) 膨張性セメント混和材を用いたコンクリートに関する研究小委員会 (46.8.16) 出席者：国分委員長，ほか 13 名。議事：1) 各試験結果の報告。2) 標準試験方法について。3) 膨張セメントシンポジウムについて。

(7) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会第 3 回幹事会 (46.8.16) 出席者：大久保委員長，ほか 9 名。議事：1) 実験橋候補地視察報告。2) 風洞実験法に関する調査について。3) 設計指針について。

(8) 建設コンサルタント委員会第 6 回幹事会 (46.8.17) 出席者：横田幹事長，ほか 5 名。議事：1) 開発途上国に対する土木技術協力の強化および促進に関して委員会から学会に対する提言について。2) 幹事の交替について。

(9) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第 1 グループ打合せ (第 2 回) (46.8.18) 出席者：伯野主査，ほか 11 名。議事：1) 方法論について。2) 研究活動方針について。

(10) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第 2 グループ打合せ (第 2 回) (46.8.18) 出席者：久保委員長，後藤主査，ほか 15 名。議事：1) 今年度の研究活動方針について。2) 国鉄佐倉井筒の実験結果；田村委員，西村氏 (国鉄)。

(11) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第 3 グループ打合せ (第 2 回) (46.8.18) 出席者：久保委員長，栗林主査，ほか 11 名。議事：1) 長大トラス橋の耐震設計の事例 (南港橋) 江見委員。2) 研究活動方針について。

(12) 論文集編集委員会第 1 小委員会 (46.8.18) 出席者：伊藤主査，ほか 9 名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事会報告。5) その他。

(13) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会鋼材分科会 (第 2 回) (46.8.19) 出席者：関係者 14 名。議事：鋼上部構造用鋼板に関する調査研究。

(14) 論文集編集委員会第 5 小委員会 (46.8.19) 出席者：岩間主査，ほか 6

名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事会報告。5) その他。

(15) 沈埋トンネル耐震設計研究委員会 (46.8.20) 出席者：岡本委員長，伊吹山副委員長，ほか 11 名。議事：1) 大阪湾における建設省の計画。2) 沈埋トンネルの設計・施工法に関する調査報告書の説明。3) 研究会の進め方。

(16) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会 (第 2 回) (46.8.20) 出席者：大久保委員長，ほか 14 名。議事：1) 実験橋候補地視察報告。2) 風洞実験法に関する調査について。3) 設計指針の検討。4) 資料紹介。

(17) 原子力土木委員会打合せ (46.8.20) 出席者：関係者 13 名。議事：技術調査研究費予算の審議。

(18) 土木計画学研究委員会 (46.8.20) 出席者：米谷副委員長，長尾幹事長，ほか 10 名。議事：1) 経過報告。2) 第 4 回土木計画学講習会の反省と次回への提言。3) 第 6 回土木計画学シンポジウムの諸件決定。4) 次期委員長推薦の件。5) その他。

(19) 論文集編集委員会第 4 小委員会 (46.8.20) 出席者：新谷主査，ほか 6 名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事会報告。5) その他。

(20) 土木技術者のための岩盤力学改訂小委員会幹事打合せ (46.8.23) 出席者：関係者 6 名。議事：1) 第 8 章 橋梁基礎への応用について。2) 第 4 章，第 5 章の検討。

(21) 論文集編集委員会第 3 小委員会 (46.8.23) 出席者：久野主査，ほか 6 名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事会報告。5) その他。

(22) 第 5 回建設コンサルタント委員会 (46.8.23) 出席者：猪瀬委員長，ほか 9 名。議事：委員会から学会への提言ならびに学会から官側への要望について。

(23) 終局強度に関する打合せ (46.8.24) 出席者：関係者 3 名。議事：構造工学委員会構造物安全性研究小委員会 (仮称) 設置案について。

(24) 橋梁構造委員会 (46.8.24) 出席者：平井委員長，ほか 12 名。議事：1) 本州四国連絡橋に関する調査研究。2) 海洋構造物に関する調査研究。3) 橋梁年報編集小委員会について。4) 関連学会との連絡事項。5) 構造工学委員会および鋼構造委員会の設置。

(25) 青函トンネル土工研究委員会第2回委員会および現地視察(46.8.24)出席者:岡本委員長,ほか22名。議事:1)委員長挨拶。2)委員の追加。3)土工小委員会経過報告および討議。4)現地調査について;現地視察(8月23日~27日):竜飛鉄道建設現場および吉岡鉄道建設現場。

(26) 会誌編集委員会(46.8.24)出席者:千秋委員長,服部幹事長,ほか19名。議事:1)経過報告。2)第57巻会誌登載講座協議。3)第57巻会誌登載シリーズの協議。4)第57巻第1,2号特集記事協議。5)会誌別冊発刊の件協議。6)その他。

(27) 安全問題研究委員会第1回幹事会(46.8.24)出席者:関係者5名。議事:運営推進について。

(28) 本州四国連絡橋綱上部構造研究小委員会荷重分科会(第1回)(46.8.25)出席者:関係者9名。議事:自動車荷重および列車荷重の検討。

(29) 原子力土木委員会廃棄物部会(46.8.25)出席者:1)左合部会長,ほか10名。議事:1)放射性固体廃棄物処理処分検討会報告書の検討。2)ハウエル研究所の研究レポートの概要紹介検討。

(30) 論文集編集委員会第2小委員会(46.8.25)出席者:室田主査,ほか7名。議事:1)前回小委員会報告。2)査読報告。3)新規受付原稿。4)主査幹事会報告。5)その他。

(31) 論文集編集委員会主査幹事会(46.8.25)出席者:前田委員長,久野副委員長,伊藤,室田,新谷,岩間の各主査,ほか5名。議事:1)前回議事録の確認。2)各小委員会報告。3)論文報告集第195号登載原稿について。4)査読者への報告について。5)その他。

(32) 原子力立地一般分科会(46.8.26)出席者:関係者3名。議事:「わが国における原子力発電所」編集打合せ。

(33) 海外活動委員会幹事会(46.8.26)出席者:太田尾委員長,吉越副委員長,猪瀬建設コンサルタント委員会委員長,横田同幹事長,ほか8名。議事:1)建設コンサルタント委員会よりの「開発途上国に対する土木技術協力の強化および促進に関する提言」に関連して。2)46年度の活動に関連して。3)バンコック支所について。

(34) 海外工事契約仕様書研究会(46.8.27)出席者:吉越主査,ほか31名。議事:テキストの第1章を検討協議した。

(35) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会設計分科会(46.8.27~28)出席者:河野副委員長,猪股主査,ほか10名。議事:プレストレストコンクリート標準示方書設計編の逐条審議を行なった。

(36) 岩盤力学委員会運営委員会(46.8.30)出席者:岡本委員長,ほか4名。議事:1)各分科会活動報告。2)研究会開催について。3)“第7回岩盤力学に関するシンポジウム”開催について。4)昭和46年度論文賞選考委員会委員推薦について。

(37) 本州四国連絡橋綱上部構造研究小委員会座屈分科会(第2回)(46.8.30)出席者:関係者14名。議事:タワー耐力検算方式の検討。

(38) 海洋構造物に関する調査研究委員会打合せ(46.8.30)出席者:村上委員長,ほか4名。議事:委員会の運営方針等につき打合を行なった。

(39) 第1回企画委員会(46.8.30)出席者:堀委員長,ほか11名。議事:1)経過報告。2)委員長あいさつ。3)運営内規について。4)構成案について。5)委員会の運営推進について。

◎そ の 他

(1) 映画会(46.8.14)  
場 所:土木図書館講堂  
出席者:観客15名  
記 事:「セメント」  
「文明の岩」  
「土と基礎」  
「ハイウエイを作る」

以上5本を上映した。  
(2) Weber 教授講演会(46.8.18)  
場 所:土木図書館講堂  
出席者:約100名  
議 事:活性炭処理について

(3) 第4回土木計画学講習会(東京会場)(46.8.19~20)  
場 所:土木図書館講堂  
講 師:5名  
参加者:155名  
記 事:主題/土木計画学における最適手法

(4) 第4回土木計画学講習会(福岡会場)(46.8.26~27)  
場 所:九州大学工学部防音第101番教室  
講 師:5名  
参加者:80名  
記 事:主題/土木計画学における最適手法

◎東北支部

(1) 全国大会実行委員会総務部会(46.8.24,クロバー)出席者:関係者23名。

(2) 全国大会実行委員会総務部会(46.9.22,クロバー)出席者:関係者25名。

(3) 全国大会実行委員会講演部会(46.9.25,クロバー)出席者:関係者19名。

(4) 全国大会実行委員会講演部会(46.9.25,東北工業大学)出席者:関係者15名

(5) 全国大会実行委員会見学会(46.9.28,東北支部事務局)出席者:関係者14名。

(6) 全国大会実行委員会総務部会(46.9.29,セントラルホテル)出席者:関係者25名。

(7) 全国大会(46.10.1~3,東北工業大学)

参加者:約1800名。

(8) 全国大会見学会(46.10.4~5,蔵王コース,中尊寺コース,青函コース)  
参加者:103名。

◎関西支部

(1) 福井地区講演会(46.9.6,福井市商工会館)

共催:土木学会関西支部・福井県建設技術協会

題目と講師:

1. コンクリートの品質管理について  
金沢大学教授工学部 工博 柳場 重正
2. 河川水質汚濁の解析と防止  
京都大学教授工学部 工博 岩井 重久
3. 北陸高速自動車道について  
日本道路公団金沢建設局建設部長 北村 喬

参加者:145名

(2) 第4回(昭和46年度)業務研究発表会(46.8.27,大阪科学技術センター)

主催:建設コンサルタンツ協会大阪支部・後援:土木学会関西支部

1. 特別講演:崩壊と地すべりの予知と予防 神戸大学教授工学部 工博 田中 茂

2. 第1部会:研究発表 9題

3. 第2部会:各研究委員会の発表報告 4題

4. 第3部会:映画 13編

参加者:289名

(3) 企画担当幹事会 (第3回) (46.9.17, 土木学会関西支部) 出席者: 関係者 11名。

(4) 庶務会計担当幹事会 (第1回) (46.9.17, 土木学会関西支部) 出席者: 関係者 9名。

(5) 計画担当幹事会 (第4回) (46.9.20, 土木学会関西支部) 出席者: 関係者 7名。

(6) 第64回騒音振動委員会 (46.9.14, 土木学会関西支部) 出席者: 庄司委員長, ほか7名。

(7) 騒音振動委員会幹事会 (第6回) (46.9.14, 土木学会関西支部) 出席者: 庄司委員長, ほか2名。

(8) 騒音振動委員会委員移動委員 荻野 正一氏 (大阪府民生部次長) 都合により委員退任。

## 編集 後記

中国代表権問題を討議してきた第26回国連総会は、10月26日「中国招請・国府追放」を求めたアルパニアなど23カ国提出の決議案を可決、成立させた。これにより建国以来22ヵ年ぶりに中国の国連参加が実現し、第二次大戦以後今日まで続いてきた国連を舞台とする米ソ両国による世界政治の時代から、米中ソの三極時代の幕があき、世界の歴史の流れははっきり変わった。この中国承認という新しい現実を前に、わが国も新しい流れに向かって前進するものと思われる。

7億の人からなる近くて遠い中国、その発展の中で技術者のはたした役割はどのようなものであろうか。

さて、このところ特集号が続きましたが、本号は依頼原稿および一般記事による「普通号」をお送りします。

昨年10月号で一部工事の現況を報告した山陽新幹線の工事がさきほど完成し、今回はその工事報告を中心に「利水の安全度に関する二、三の考察」「地中送電線の建設」などバラエティーに富んだ内容をもりこみました。秋の夜長を本号でお過ごし下さい。

なお、次号は10月1日～3日・仙台で行なわれた全国大会の特集をお送りする予定です。本年の全国大会号は昨年までの様式を改良・短縮して、余ったページに一般原稿を入れることとしております。

(杉山俊宏・記)

## “貨物設備アスファルト舗装設計指針 (案)” 実費頒布についてのお知らせ

本書は、貨物設備の舗装の設計について日本国有鉄道 (建設局) が土木学会に研究を委託し、その報告書 (昭和45年度) に基づいて設計指針 (案) として作成したものでありますが、広く関係学協会会員の方へ頒布することになりました。本書をご希望の方は、下記により実費頒布しておりますので、お申込み下さい。

### 記

1. 書名: 貨物設備アスファルト舗装設計指針 (案) B5判 100ページ
2. 実費価格: 250円 (〒65円)
3. 申込先: 社団法人 日本鉄道施設協会 東京都台東区東上野 2-18-7 共同ビル 電話 (03) 833-4271

## 土木学会 出版物の マイクロ フィッシュ フィルム 頒布中

●問合先  
土木図書館

日本インフォメーションマイクロ (株) と提携して右記の土木学会出版物のマイクロフィルム化を終りましたのでご希望の方はお申出下さい。マイクロフィッシュフィルムとはハガキ大のフィルムの中に60ページの文献を収録した新しい情報管理システムです。

### 1. 土木学会誌・論文集総索引

■5シート (252ページ) 1600円 (〒とも)

内容 創立50周年記念出版物として刊行されたが既に絶版となっている。創刊より38年末までの土木学会誌・論文集の題目を専門別に分類した索引集。

### 2. 土木学会論文集・第1号～第124号

■206シート (約8,000ページ) 62100円 (〒とも)

内容 第1号 (昭和19年) より第124号 (昭和40年) までに収録された全論文のフィルム。

### 3. 土木学会誌・第1巻～第50巻

■1469シート (約70,000ページ) 358000円 (〒とも) (分売可)

内容 第1巻 (大正4年) より第50巻 (昭和40年) までに収録された広告を除く全文のフィルム。

### 4. 土木工学文献目録集 (1969)

■5シート (210ページ) 2000円

内容 1969年に発行された土木関係雑誌 (国内・国外を合せ約100種) に掲載された論文7050編を18項目に分類して収録した目録集。